
「退院時 modified rankin scale が改善した動脈瘤性くも膜下出血患者の

特徴の調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年4月1日～2024年6月30日の期間に当脳卒中治療室（Stroke Care Unit：以下 SCU）へ入院された手術後の動脈瘤性くも膜下出血の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

退院時の modified rankin scale(以下：mRS)が改善した患者の特徴を明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日としています。

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から約1か月程度としています。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応致します。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテから退院時 mRS が改善した動脈瘤性くも膜下出血患者の特徴の実態調査を行います。調査項目は年齢、性別、重症度（WFNS 分類・fisher 分類）、出血部位、転帰、入退院時の mRS、身体抑制の有無、栄養開始までの期間、リハビリ開始までの期間、リハビリ期間、リハビリ内容、離床開始までの期間を調査します。

この研究で得られた患者さんの情報は、国際医療センターにおいて、研究責任者である大久保将が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

SCU に入室された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター

B3SCU 大久保 将（研究責任者）

B3SCU（主任） 齋藤 新

B3SCU（師長） 田口 裕彦

脳卒中外科（教授） 栗田 浩樹

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。
- ・埼玉医科大学国際医療センターが保有している患者さんご自身を識別できる情報をご覧になりたい場合は、所定の方法により開示することが可能です。手数料をいただきますが、ご希望の場合は、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学国際医療センター 看護部 B3SCU 大久保 将

〒350-1298

埼玉県日高市山根 1397-1

電話 042-984-4111（代）（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：退院時 modified rankin scale が改善した動脈瘤性くも膜下出血患者の特徴の調査

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 看護部 B3SCU 大久保 将